

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3250657号
(U3250657)

(45)発行日 令和7年3月21日(2025.3.21)

(24)登録日 令和7年3月12日(2025.3.12)

(51)国際特許分類

F I

B 6 2 B 3/02 (2006.01)

B 6 2 B 3/02 B

B 6 2 B 3/00 (2006.01)

B 6 2 B 3/00 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全9頁)

(21)出願番号 実願2025-236(U2025-236)	(73)実用新案権者 523013215
(22)出願日 令和7年1月23日(2025.1.23)	安徽呵宝寵物用品有限公司
(31)優先権主張番号 202423040853.6	Anhui Hope Pet Product Co., LTD
(32)優先日 令和6年12月10日(2024.12.10)	中華人民共和國安徽省合肥市經濟技術開發區蓬萊路602号
(33)優先権主張国・地域又は機関 中国(CN)	No. 602, Penglai Rd, Hefei Economic Development Zone, China
	(74)代理人 100232862
	弁理士 王 雪
	(72)考案者 顧 勃勃
	中華人民共和國 230000 安徽省合肥市經濟技術開發區蓬萊路602号
	(72)考案者 葉 俊
	最終頁に続く

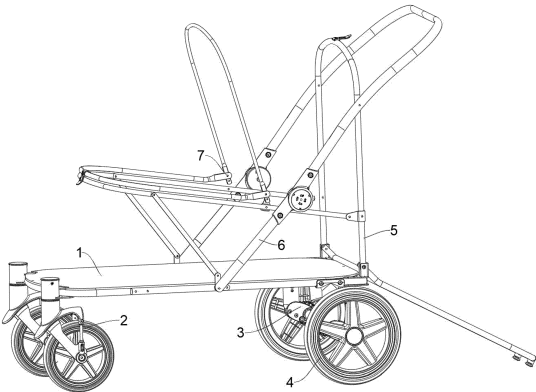
(54)【考案の名称】 移動式折り畳みカート

(57)【要約】 (修正有)

【課題】移動式折り畳みカートを提供する。

【解決手段】移動式折り畳み式カートは、カート底板1と、カート底板1の下端の一方側の両端にそれぞれ固定して取付けられた第1のスライド車輪2とを備え、カート底板1の下端の他方側の両端にはブラケット3が固定して取付けられ、ブラケット3の両端にはそれぞれ第2のスライド車輪4が設けられている。カート底板1の上端の一方側の両端にはそれぞれ後部支持アセンブリ5が固定して取付けられ、カート底板1の外壁の両側の中央部にはそれぞれ主接続アセンブリ6が移動可能に取付けられ、後部支持アセンブリ5の上端の一方側には従動アセンブリ7が移動可能に取付けられている。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

カート底板（１）と、カート底板（１）の下端の一方側の両端にそれぞれ固定して取付けられた第１のスライド車輪（２）とを備える移動式折り畳み式カートであって、前記カート底板（１）の下端の他方側の両端にはブラケット（３）が固定して取付けられ、ブラケット（３）の両端にはそれぞれ第２のスライド車輪（４）が設けられており、カート底板（１）の上端の一方側の両端にはそれぞれ後部支持アセンブリ（５）が固定して取付けられ、カート底板（１）の外壁の両側の中央部にはそれぞれ主接続アセンブリ（６）が移動可能に取付けられ、後部支持アセンブリ（５）の上端の一方側には従動アセンブリ（７）が移動可能に取付けられている、
ことを特徴とする移動式折り畳みカート。

10

【請求項 2】

前記後部支持アセンブリ（５）は、凹状のブラケット（５１）と、可動軸を介して移動可能に取り付けられる第１のＵ字型丸棒（５２）を含み、凹状のブラケット（５１）の内壁の一方側には第２のＵ字型丸棒（５３）が移動可能に取り付けられ、第２のＵ字型丸棒（５３）の下端の一方側の両側にはそれぞれ第１の雌ねじ溝棒（５４）が固定して取り付けられている、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の移動式折り畳みカート。

【請求項 3】

前記第１のＵ字型丸棒（５２）の外壁の中央部の両側にはそれぞれヒンジブロック（５５）が固定して取り付けられ、ヒンジブロック（５５）の一方側には第３のＵ字型丸棒（５６）が移動可能に取り付けられ、第３のＵ字型丸棒（５６）の外壁の一端の中央部には第２の雌ねじ溝棒（５７）が固定して取り付けられ、凹状のブラケット（５１）の上端の中央部には第１の中空係止ブロック（５８）が固定して取り付けられている、
ことを特徴とする請求項 2 に記載の移動式折り畳みカート。

20

【請求項 4】

前記主接続アセンブリ（６）は、押出機構（６１）と、押出機構（６１）の下端の両側に移動可能に取り付けられた支持機構（６２）とを含み、支持機構（６２）の下端には直角ブロック（６３）が移動可能に取り付けられ、直角ブロック（６３）の上端の一方側には斜め支持棒（６４）が移動可能に取り付けられている、
ことを特徴とする請求項 3 に記載の移動式折り畳みカート。

30

【請求項 5】

前記押出機構（６１）は、第５のＵ型円柱（６１１）と、第５のＵ字型丸棒（６１１）の下端の両側に固定して取り付けられた第１の中空丸棒スリーブ（６１２）とを含み、第１の中空丸棒スリーブ（６１２）の下端には第１の半円ブロック（６１３）が一体に形成され、第１の半円ブロック（６１３）の内腔の中央部には挿通棒（６１４）が固定して取り付けられている、
ことを特徴とする請求項 4 に記載の移動式折り畳みカート。

【請求項 6】

前記支持機構（６２）は、長棒（６２１）と、長棒（６２１）の一端に固定して取り付けられた第２の中空丸棒スリーブ（６２２）とを含み、第２の中空丸棒スリーブ（６２２）の一端には対応する半円ブロック（６２３）が固定して取り付けられ、対応する半円ブロック（６２３）の内腔の中央部には円環状溝（６２４）が取り付けられている、
ことを特徴とする請求項 5 に記載の移動式折り畳みカート。

40

【請求項 7】

前記従動アセンブリ（７）は、第４のＵ字型丸棒（７１）と、第４のＵ字型丸棒（７１）の一端の両側に移動可能に取付けられた第６のＵ字型丸棒（７２）とを含み、第６のＵ字型丸棒（７２）の下端の両側にはそれぞれ凸形状のブロック（７３）が移動可能に取り付けられ、第４のＵ字型丸棒（７１）の一端の中央部には第２の中空係止ブロック（７４）が固定して取り付けられている、

50

ことを特徴とする請求項 6 に記載の移動式折り畳みカート。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、カートの技術分野に関し、具体的に移動式折り畳みカートに関する。

【背景技術】

【0002】

カートとは、人力で押したり引いたりする運搬車両であり、通常、車板の下端の四隅にそれぞれスライド車輪が設けられ、スライド車輪によって車板を動かしている。ペットを連れ出すための従来の方法は、牽引ロープを使うか、飼い主が手で抱えているしかないが、大型のペットにとっては人力で抱えるのは難しく、移動も不便である。ペットをカートに乗せれば、大型のペットを直接移動させることができ、手動で運ぶよりも省力で便利である。

【0003】

現在、カートのサイズは組み立て時に固定されているため、このような構成では、ユーザーがカートを保管したり置いたりする際に、より多くのスペースを占有することになるとともに、カートを運ぶ必要がある場合に、カートが一定のスペースに固定されるため、持ち運びに不便が生じる。

【0004】

そこで、上記の課題を解決するために、移動式折り畳み式カートを提案する。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

本実用新案の目的は、上記の背景技術に提出された、カートのサイズは組み立て時に固定されているため、このような構成では、ユーザーがカートを保管したり置いたりする際に、より多くのスペースを占有することになるとともに、カートを運ぶ必要がある場合に、カートが一定のスペースに固定されるため、持ち運びに不便が生じるという課題を解決するための移動式折り畳みカートを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本実用新案は以下の技術案を提供する。本実用新案に係る移動式折り畳みカートは、カート底板と、カート底板の下端の一方側の両端にそれぞれ固定して取付けられた第 1 のスライド車輪とを備える移動式折り畳み式カートであって、前記カート底板の下端の他方側の両端にはブラケットが固定して取付けられ、ブラケットの両端にはそれぞれ第 2 のスライド車輪が設けられており、カート底板の上端の一方側の両端にはそれぞれ後部支持アセンブリが固定して取付けられ、カート底板の外壁の両側の中央部にはそれぞれ主接続アセンブリが移動可能に取り付けられ、後部支持アセンブリの上端の一方側には従動アセンブリが移動可能に取り付けられている。

【0007】

好ましくは、前記後部支持アセンブリは、凹状のブラケットと、可動軸を介して移動可能に取り付けられる第 1 の U 字型丸棒を含み、凹状のブラケットの内壁の一方側には第 2 の U 字型丸棒が移動可能に取り付けられ、第 2 の U 字型丸棒の下端の一方側の両側にはそれぞれ第 1 の雌ねじ溝棒が固定して取り付けられている。

【0008】

好ましくは、前記第 1 の U 字型丸棒の外壁の中央部の両側にはそれぞれヒンジブロックが固定して取り付けられ、ヒンジブロックの一方側には第 3 の U 字型丸棒が移動可能に取り付けられ、第 3 の U 字型丸棒の外壁の一端の中央部には第 2 の雌ねじ溝棒が固定して取り付けられ、凹状のブラケットの上端の中央部には第 1 の中空係止ブロックが固定して取り付けられている。

【0009】

10

20

30

40

50

好ましくは、前記主接続アセンブリは、押出機構と、押出機構の下端の両側に移動可能に取り付けられた支持機構とを含み、支持機構の下端には直角ブロックが移動可能に取り付けられ、直角ブロックの上端の一方側には斜め支持棒が移動可能に取り付けられている。

【 0 0 1 0 】

好ましくは、前記押出機構は、第 5 の U 型円柱と、第 5 の U 字型丸棒の下端の両側に固定して取り付けられた第 1 の中空丸棒スリーブとを含み、第 1 の中空丸棒スリーブの下端には第 1 の半円ブロックが一体に形成され、第 1 の半円ブロックの内腔の中央部には挿通棒が固定して取り付けられている。

【 0 0 1 1 】

好ましくは、前記支持機構は、長棒と、長棒の一端に固定して取り付けられた第 2 の中空丸棒スリーブとを含み、第 2 の中空丸棒スリーブの一端には対応する半円ブロックが固定して取り付けられ、対応する半円ブロックの内腔の中央部には円環状溝が取り付けられている。

【 0 0 1 2 】

好ましくは、前記従動アセンブリは、第 4 の U 字型丸棒と、第 4 の U 字型丸棒の一端の両側に移動可能に取付られた第 6 の U 字型丸棒とを含み、第 6 の U 字型丸棒の下端の両側にはそれぞれ凸形状のブロックが移動可能に取り付けられ、第 4 の U 字型丸棒の一端の中央部には第 2 の中空係止ブロックが固定して取付けられている。

【 考案の効果 】

【 0 0 1 3 】

従来技術と比較して、本実用新案の有益な効果は、以下の通りである。

1、カートが使用されない場合に、第 5 の U 字型丸棒を前下方に押圧することにより、第 5 の U 字型丸棒の一端の第 1 の半円ブロック及び対応する半円ブロックが回転し、長棒が先端に向かって折り畳まれるとともに、移動可能に取り付けられた斜め支持棒が共に前方に傾け、それによって、斜め支持棒が第 1 の U 字型丸棒と第 3 の U 字型丸棒を前方に傾けるようにする。従動アセンブリが第 3 の U 字型丸棒の内壁の両側に移動可能に取り付けられて、第 3 の U 字型丸棒に追従して共に前傾運動しているため、第 3 の U 字型丸棒の下端とカート底板の上端が接触して配置されていると、カートの折り畳みと収納が完了し、使用しない場合に持ち運びに便利である。

【 0 0 1 4 】

2、ペットがカートから降りると、第 1 の雌ねじ溝棒の内腔にねじ込まれた T 字型ねじを緩めることにより、第 1 の中空係止ブロックを第 1 の雌ねじ溝棒の一端から取り出すことができる。第 2 の U 型丸棒の一端の両側がそれぞれ凹状のブラケットの内壁の一端に移動可能に取り付けられているため、第 2 の U 字型丸棒の他端は地面に接触していることで、ペットが第 2 の U 字型丸棒から降りることができ、使いやすくなる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 5 】

【 図 1 】本実用新案の全体構造の斜視図である。

【 図 2 】本実用新案の後部支持アセンブリ、主接続アセンブリと従動アセンブリの構造の斜視図である。

【 図 3 】本実用新案の押出機構の斜視図である。

【 図 4 】本実用新案の支持機構の斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 1 6 】

以下、本実用新案の実施形態の図面を参照しながら、本実用新案の実施形態における技術案を明確に、完全に説明するが、無論、説明された実施形態は本実用新案の一部の実施形態にすぎず、すべての実施形態ではない。本実用新案中の実施例に基づいて、当業者が創造的な労働を行うことなく獲得したその他のすべての実施形態も本実用新案の保護範囲に属する。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 7 】

実施例 1

図 1 から図 4 を参照すると、移動式折り畳み式カートは、カート底板 1 と、カート底板 1 の下端の一方側の両端にそれぞれ固定して取付けられた第 1 のスライド車輪 2 とを備え、カート底板 1 の下端の他方側の両端にはブラケット 3 が固定して取付けられ、ブラケット 3 の両端にはそれぞれ第 2 のスライド車輪 4 が設けられている。第 1 のスライド車輪 2 と第 2 のスライド車輪 4 が配置されることにより、カート底板 1 を移動させることになる。カート底板 1 の上端の一方側の両端にはそれぞれ後部支持アセンブリ 5 が固定して取付けられ、カート底板 1 の外壁の両側の中央部にはそれぞれ主接続アセンブリ 6 が移動可能に取付けられ、後部支持アセンブリ 5 の上端の一方側には従動アセンブリ 7 が移動可能に取付けられている。

10

【 0 0 1 8 】

主接続アセンブリ 6 は、押出機構 6 1 と、押出機構 6 1 の下端の両側に移動可能に取り付けられた支持機構 6 2 とを含み、支持機構 6 2 の下端には直角ブロック 6 3 が移動可能に取り付けられ、直角ブロック 6 3 は、カート底板 1 の外壁の中央部の両側に固定して取り付けられている。これにより、支持機構 6 2 の下端がカート底板 1 の外壁の中央部の両側に移動可能に取り付けられている。直角ブロック 6 3 の上端の一方側には斜め支持棒 6 4 が移動可能に取り付けられ、斜め支持棒の上端は第 3 の U 字型丸棒 5 6 の外壁の両側に移動可能に取り付けられている。

20

【 0 0 1 9 】

押出機構 6 1 は、第 5 の U 型円柱 6 1 1 と、第 5 の U 字型丸棒 6 1 1 の下端の両側に固定して取り付けられた第 1 の中空丸棒スリーブ 6 1 2 とを含み、第 1 の中空丸棒スリーブ 6 1 2 の下端には第 1 の半円ブロック 6 1 3 が一体に形成され、第 1 の半円ブロック 6 1 3 の内部空洞の中央部には挿通棒 6 1 4 が固定して取り付けられている。

【 0 0 2 0 】

支持機構 6 2 は、長棒 6 2 1 と、長棒 6 2 1 の一端に固定して取り付けられた第 2 の中空丸棒スリーブ 6 2 2 とを含み、第 2 の中空丸棒スリーブ 6 2 2 の一端には対応する半円ブロック 6 2 3 が固定して取り付けられ、対応する半円ブロック 6 2 3 の内部空洞の中央部には円環状溝 6 2 4 が取り付けられている。挿通棒 6 1 4 が円環状溝 6 2 4 の内腔内移動可能に取り付けられることにより、第 1 の半円ブロック 6 1 3 及び対応する半円ブロック 6 2 3 の移動可能な取付を実現する。

30

【 0 0 2 1 】

従動アセンブリ 7 は、第 4 の U 字型丸棒 7 1 と、第 4 の U 字型丸棒 7 1 の一端の両側に移動可能に取付けられた第 6 の U 字型丸棒 7 2 とを含み、第 6 の U 字型丸棒 7 2 の下端の両側にはそれぞれ凸形状のブロック 7 3 が移動可能に取り付けられ、第 4 の U 字型丸棒 7 1 の一端の中央部には第 2 の中空係止ブロック 7 4 が固定して取付けられている。第 2 の雌ねじ溝棒 5 7 が第 2 の雌ねじ溝棒 5 7 の内腔に移動可能に取り付けられ、第 2 の雌ねじ溝棒 5 7 の内腔にねじ込まれて取り付けられることにより、第 2 の雌ねじ溝棒 7 4 の上端への固定を実現するとともに、第 4 の U 字型丸棒 7 1 と第 3 の U 字型丸棒 5 6 との接続を完了する。

40

【 0 0 2 2 】

本実施例において、カートが使用されない場合に、第 5 の U 字型丸棒 6 1 1 を前下方に押圧することにより、第 5 の U 字型丸棒 6 1 1 の一端の第 1 の半円ブロック 6 1 3 及び対応する半円ブロック 6 2 3 が回転し、長棒 6 2 1 が先端（第 1 のスライド車輪の方向）に向かって折り畳まれるとともに、移動可能に取り付けられた斜め支持棒 6 4 が共に前方に傾け、それによって、斜め支持棒 6 4 が第 1 の U 字型丸棒 5 2 と第 3 の U 字型丸棒 5 6 を前方に傾けるようにする。従動アセンブリ 7 が第 3 の U 字型丸棒 5 6 の内壁の両側に移動可能に取り付けられて、第 3 の U 字型丸棒 5 6 に追従して共に前傾運動しているため、第 3 の U 字型丸棒 5 6 の下端とカート底板 1 の上端が接触して配置されていると、カートの折り畳みと収納が完了し、使用しない場合に持ち運びに便利である。

50

【 0 0 2 3 】

実施例 2

本実施例は、実施例 1 に基づいて改良されたものである。具体的には、図 2 から図 3 を参照すると、後部支持アセンブリ 5 は、凹状のブラケット 5 1 と、可動軸を介して移動可能に取り付けられる第 1 の U 字型丸棒 5 2 を含み、凹状のブラケット 5 1 の内壁の一方側には第 2 の U 字型丸棒 5 3 が移動可能に取り付けられ、第 2 の U 字型丸棒 5 3 の下端の一方側の両側にはそれぞれ第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 が固定して取り付けられ、第 2 の U 字型丸棒 5 3 は、カート底板 1 の上端に立っているペットがカートから降りるための緩やかな傾斜面を構成している。

【 0 0 2 4 】

10

第 1 の U 字型丸棒 5 2 の外壁の中央部の両側にはそれぞれヒンジブロック 5 5 が固定して取り付けられ、ヒンジブロック 5 5 の一方側には第 3 の U 字型丸棒 5 6 が移動可能に取り付けられ、第 3 の U 字型丸棒 5 6 の外壁の一端の中央部には第 2 の雌ねじ溝棒 5 7 が固定して取り付けられ、凹状のブラケット 5 1 の上端の中央部には第 1 の中空係止ブロック 5 8 が固定して取り付けられている。第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 は、第 1 の中空係止ブロック 5 8 の内腔に移動可能に取り付けられ、T 字型スクリューを介して第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 の内腔に螺着されることにより、第 2 の U 字型丸棒 5 3 と第 1 の中空係止ブロック 5 8 との接続を完了する。

【 0 0 2 5 】

20

本実施例において、ペットをカート底板 1 の上端に置き、主接続アセンブリ 6 を押すことで、カート全体を移動させることができる。ペットがカートから降りると、第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 の内腔にねじ込まれた T 字型ねじを緩めることにより、第 1 の中空係止ブロック 5 8 を第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 の一端から取り出すことができる。第 2 の U 字型丸棒の一端の両側がそれぞれ凹状のブラケット 5 1 の内壁の一端に移動可能に取り付けられているため、第 2 の U 字型丸棒 5 3 の他端は地面に接触していることで、ペットが第 2 の U 字型丸棒 5 3 から降りることができ、使いやすくなる。

【 0 0 2 6 】

動作の原理は以下の通りである。

ペットをカート底板 1 の上端に置き、主接続アセンブリ 6 を押すことで、カート全体を移動させることができる。ペットがカートから降りると、第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 の内腔にねじ込まれた T 字型ねじを緩めることにより、第 1 の中空係止ブロック 5 8 を第 1 の雌ねじ溝棒 5 4 の一端から取り出すことができる。第 2 の U 字型丸棒の一端の両側がそれぞれ凹状のブラケット 5 1 の内壁の一端に移動可能に取り付けられているため、第 2 の U 字型丸棒 5 3 の他端は地面に接触していることで、ペットが第 2 の U 字型丸棒 5 3 から降りることができる。カートが使用されない場合に、第 5 の U 字型丸棒 6 1 1 を前下方に押圧することにより、第 5 の U 字型丸棒 6 1 1 の一端の第 1 の半円ブロック 6 1 3 及び対応する半円ブロック 6 2 3 が回転し、長棒 6 2 1 が先端（第 1 のスライド車輪の方向）に向かって折り畳まれるとともに、移動可能に取り付けられた斜め支持棒 6 4 が共に前方に傾け、それによって、斜め支持棒 6 4 が第 1 の U 字型丸棒 5 2 と第 3 の U 字型丸棒 5 6 を前方に傾けるようにする。従動アセンブリ 7 が第 3 の U 字型丸棒 5 6 の内壁の両側に移動可能に取り付けられて、第 3 の U 字型丸棒 5 6 に追従して共に前傾運動しているため、第 3 の U 字型丸棒 5 6 の下端とカート底板 1 の上端が接触して配置されていると、カートの折り畳みと収納が完了する。

【 0 0 2 7 】

第 2 の中空丸棒スリーブ 6 2 2、対応する半円ブロック 6 2 3、円環状溝 6 2 4、第 1 の中空丸棒スリーブ 6 1 2、第 1 の半円ブロック 6 1 3 及び挿通棒 6 1 4 は、共にロックジョイントを構成し、ロックジョイントの型番は H P - 7 1 6 である。

【 0 0 2 8 】

本明細書に詳細に記載されていない内容は、当業者にとって周知した従来技術に属する。

50

【 0 0 2 9 】

本実用新案は、上記の実施例を参照して詳細に説明されたが、当業者であれば、上記の実施例で説明された技術案を変更したり、その中の技術的特徴の一部を同等に置き換えたりすることができる。本実用新案の精神と原則の範囲内で行われた修正、同等置換、改良等は、本実用新案の保護範囲に含まれるべきである。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 0 】

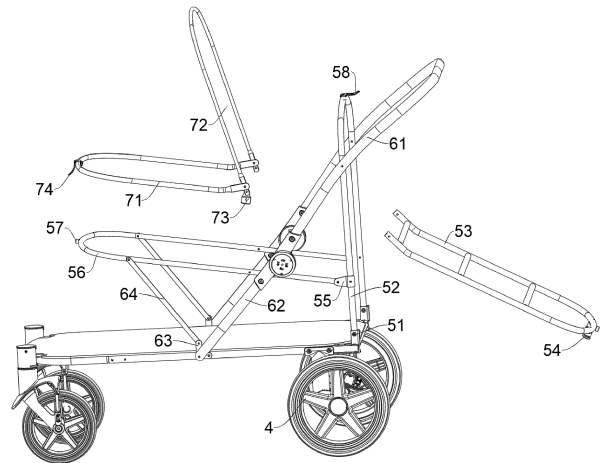
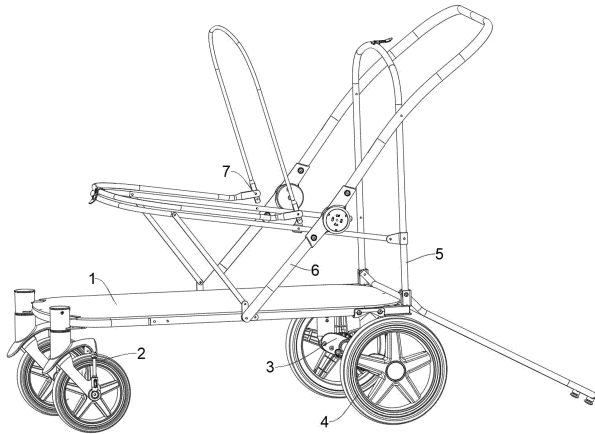
1 ... カート底板、2 ... 第1のスライド車輪、3 ... ブラケット、4 ... 第2のスライド車輪、5 ... 後部支持アセンブリ、5 1 ... 凹状のブラケット、5 2 ... 第1のU字型丸棒、5 3 ... 第2のU字型丸棒、5 4 ... 第1の雌ねじ溝棒、5 5 ... ヒンジブロック、5 6 ... 第3のU字型丸棒、5 7、第2の雌ねじ溝棒、5 8 ... 第1の中空係止ブロック、6 ... 主接続アセンブリ、6 1 ... 押出機構、6 1 1 ... 第5のU字型丸棒、6 1 2 ... 第1の中空丸棒スリーブ、6 1 3 ... 第1の半円ブロック、6 1 4 ... 挿通棒、6 2 ... 支持機構、6 2 1 ... 長棒、6 2 2 ... 第2の中空丸棒スリーブ、6 2 3 ... 対応する半円ブロック、6 2 4 ... 円環状溝、6 3 ... 直角ブロック、6 4 ... 斜め支持棒、7 ... 従動アセンブリ、7 1 ... 第4のU字型丸棒、7 2 ... 第6のU字型丸棒、7 3 ... 凸形状のブロック、7 4 ... 第2の中空係止ブロック。

10

【 図面 】

【 図 1 】

【 図 2 】



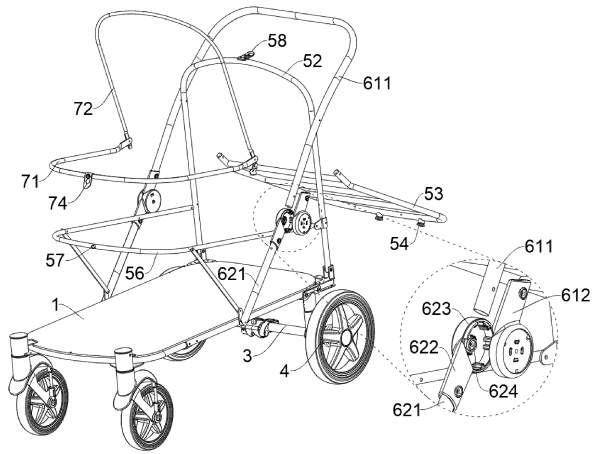
20

30

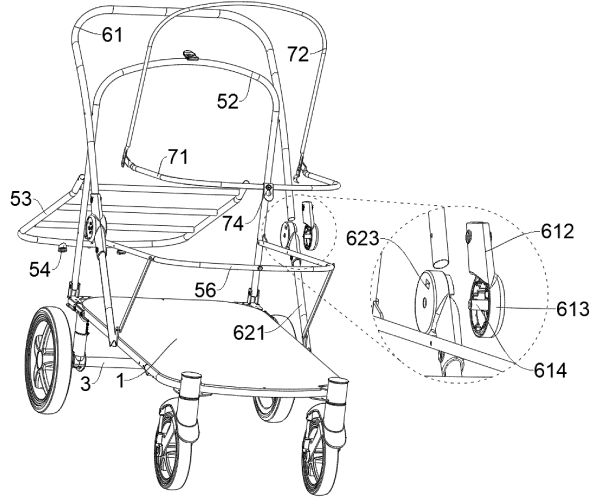
40

50

【 図 3 】



【 図 4 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

中華人民共和国 2 3 0 0 0 0 安徽省合肥市経済技術開発区蓬萊路 6 0 2 号